算数科 小学校 5年

単元名「平均とその利用」 啓林館 「わくわく算数5上」

単元の流れ(全7時間)

【第1次】

主な学習内容

◇第1時 平均の意味や計算のしかたについて理解

する。

◇第2時 平均を求め、問題解決に活用する。

◇第3時 いくつかの部分の平均を知って、全体の平

均を求める。(本時)

◇第4時 平均についての練習問題を解く。

「活用」の力の育成のために

平均を求めたり、平均を使って問題 解決する際に図や式を使ってわかり やすく自分の考えを説明する。

【第2次】

主な学習内容

◇第5時 平均を利用することの利点がわかり、これを

用いて歩幅が求める。

◇第6時 歩幅を用いて、距離の概測をする。

「活用」の力の育成のために

平均の考えが、身近な場面で活用で きるよさを理解する。



【第3次】

主な学習内容

◇第7時 平均を求めたり、平均を利用して求め方を

考える学習を通して、平均についての理解 を深める。

単元目標

○平均を求めたり、平均から全体を求めたりする。また、平均を用いて長さなどの概測をする。

単元構成の意図

平均という用語は、本単元で初めて学習 するが、児童は日常生活の中で色々な大き さの量をならして同じ大きさにすることを 経験している。

ここでは「ならして同じ大きさにしたもの」という平均の意味、平均の計算の仕方、及び長さの概測において、平均を用いて測定した値を処理する方法を取り上げ、平均を利用することのよさについて学習する。

指導にあたっては、児童一人ひとりの経験や発想を取り上げながら、具体的、操作的に理解させるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

- ①平均を求めたり、平均を使って問題解決する際に、図や式を使って、分かりやすく自分の考えを説明させる。
- ②平均の考えが、身近な場面で活用できるよ さを理解させる。

